

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2022年 1～3月期の景況 / 2023年 4～6月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は、依然として厳しい状況下にある。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2022年1～3月期の実績と2023年4～6月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期より▲0.7%の悪化となった。業種別では、卸売業は▲23.8%から0.0%へ、サービス業は4.5%から8.3%へと回復した。建設業は▲17.4%から▲25.0%へ、製造業は▲27.8%から▲35.0%へ、小売業は▲9.5%から▲27.8%へと悪化した。

来期の新規設備投資については、今期よりも3.8%減少する見込みである。

経営上の問題点については、多くの業種で「材料価格の上昇」や「仕入単価の上昇」が1位となった。さらには、「従業員の確保難」や「人件費の増加」に関する問題が上位を占めている。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不変」「下降」をもとに、景気変動に関する複数の指数を合成して算出する。

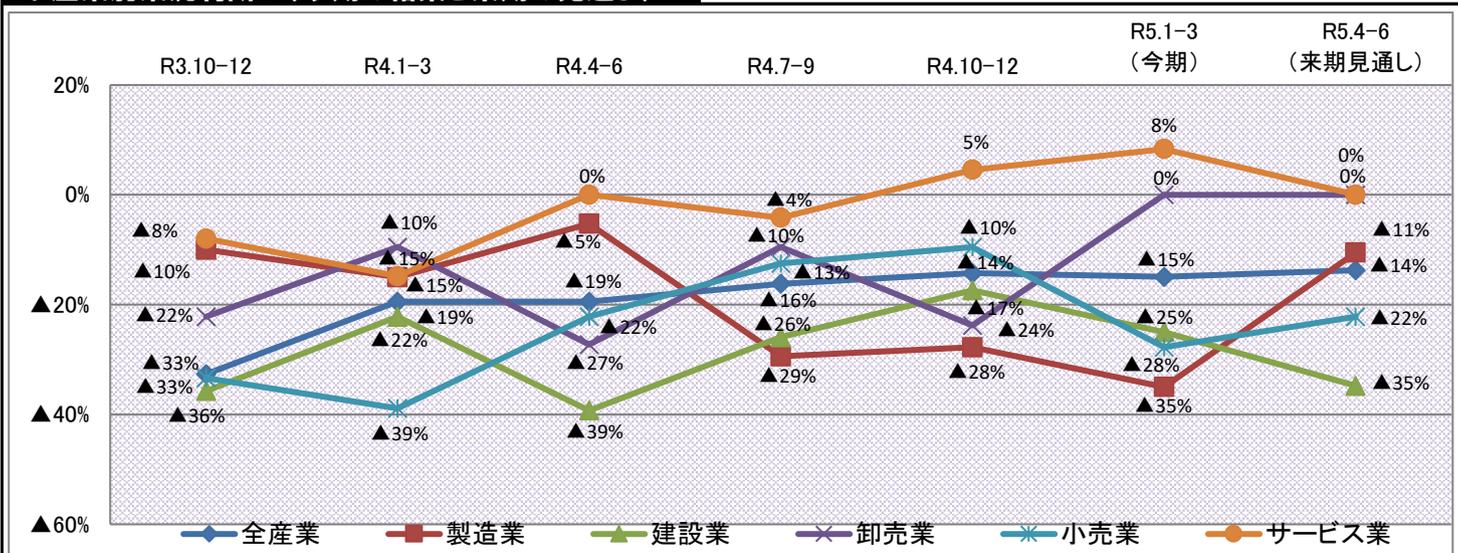
DATA

- 調査期間: 令和5年3月14日～3月24日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業134社
- 有効回答企業数: 111社(82.8%)

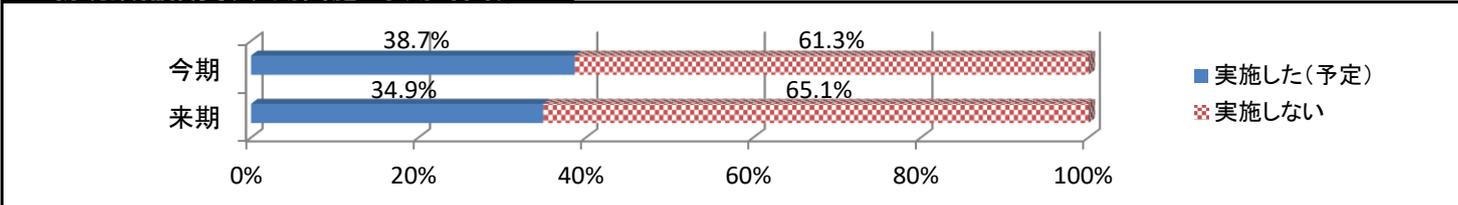
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲15.0%	▲0.7%	▲3.7%	1.0%	▲11.1%	▲5.4%	▲26.9%	▲12.8%	▲5.6%	▲5.6%
建設業	▲25.0%	▲7.6%	▲20.8%	5.3%	▲4.3%	0.0%	▲20.8%	0.9%	▲4.2%	▲8.5%
製造業	▲35.0%	▲7.2%	▲9.5%	1.0%	▲42.9%	▲20.6%	▲57.1%	▲20.3%	▲14.3%	▲9.0%
卸売業	0.0%	23.8%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	▲19.0%	▲9.5%	9.5%	4.8%
小売業	▲27.8%	▲18.3%	▲10.5%	▲15.5%	▲10.5%	▲5.5%	▲33.3%	▲28.6%	▲5.6%	▲0.6%
サービス業	8.3%	3.8%	16.7%	8.0%	▲4%	▲4%	▲8%	▲8%	▲12.5%	▲12.5%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	製造業		建設業		卸売業		小売業		サービス業	
1位	原材料価格の上昇	25.4%	材料価格の上昇	24.6%	仕入単価の上昇	25.0%	仕入単価の上昇	26.0%	利用者ニーズの変化への対応	17.7%
2位	生産設備の不足・老朽化	14.3%	従業員の確保難	21.7%	従業員の確保難	21.2%	従業員の確保難	14.0%	従業員の確保難	14.5%
3位	熟練技術者の確保難	9.5%	民間需要の停滞	13.0%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	9.6%	消費者ニーズの変化への対応	12.0%	人件費の増加	11.3%
4位	需要の停滞	9.5%	官公需要の停滞	11.6%	大企業の進出による競争の激化	7.7%	需要の停滞	10.0%	材料等仕入単価の上昇	11.3%